

電気通信大学 平成18年度シラバス

授業科目名	化学構造論		
英文授業科目名	Principles of Chemistry I		
開講年度	2006年度	開講年次	1年次
開講学期	1学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法		単位数	2
科目区分	専門科目-専門基礎科目-選択必修科目		
開講学科・専攻	情報通信工学科		
担当教官名	和田 節子		
居室	東1-105		

公開E-Mail	授業関連Webページ
wada@e-one.uec.ac.jp	

<p><b>【主題および達成目標】</b></p> <p>私たちは種々の物質に囲まれて生きています。私たち自身も物質のかたまりです。物質についての理解は、</p> <p>(1)物質を極限まで分割して得られる基本物質は何か。</p> <p>(2)基本物質からいろいろな物質ができるのはなぜか。</p> <p>の2つの方法により行われてきました。</p> <p>この授業は(2)についての最少限の勉強です。原子から分子や固体ができるときの法則を、構成原子の性質から定性的に説明していきます。</p> <p>基本を理解することで、あとあと多様な物質を理解する上できっと役に立つにちがいありません。</p> <p>化学結合理論には難しい概念も含まれています。直感的には納得しにくい部分があると思いますが、近代科学をつくりあげた先人たちの努力が含まれた、勉強する価値のある学問分野です。</p>
--

<p><b>【前もって履修しておくべき科目】</b></p> <p>特になし</p>
--

<p><b>【前もって履修しておくことが望ましい科目】</b></p> <p>特になし</p>
---

<p><b>【教科書等】</b></p> <p>教科書: 第3版 化学 物質・エネルギー・環境 浅野 努、荒川 剛、菊川 清、榊原 邁 共著 学術図書出版社</p>
--

## 電気通信大学 平成18年度シラバス

### 【授業内容とその進め方】

教科書に添ってすすめます。

(1)この本で学ぶために、化学の歴史

(2)原子の構造

(3)元素の周期律

(4)原子の結合と分子の構造

(5)固体の構造

(6)液体の構造

毎時間、授業の最後に小テストを行います。

### 【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

期末試験の成績(80%)、授業時間内の小テスト(20%)を基準に成績をつけますが、総合的に判断する予定です。ただし、欠席が多い場合は試験を受けられません。

### 【オフィスアワー：授業相談】

火曜日4時から5時。それ以外でも、特に忙しくないかぎり随時質問を受けつける。

### 【学生へのメッセージ】

基本的なことはしっかり覚えてください。それをもとに、ぜひ自分で考える力を養ってください。

### 【その他】